磐城日日

發行所
磐城日日新聞社
福島縣石城郡小名浜町諸翹五一
電話代表三六七番 二一九番
振替仙台31,355番
編集兼發行人 長瀬芳郎

就労認定問題でもむ
こん亂の平公判（二日目）
鈴木（磐）、（光）両被告退廷さる

平事件再開第一回公判第二日は山田裁判長係で廿六日午前十時から續開、人定尋問に入る前に山田裁判長より前日の職安所の不就労認定問題に就き職安では「公判出廷日の不就労をカバーする爲に他日との損失を補うようにする」と述べるや被告席は俄かに騒ぎ佐藤、八代被告ら「裁判長は出鱈目だ」と食つてかゝり、裁判長が、同問題に關する發言中止を命じても一向にきかず八代被告

裁判長は一方的にわれ〳〵の主張を破碎するから忌避したい、何とか法律的な手續きをとつてくれ

と自法團岡村、大塚兩辯護人に發言、一方辯護人たちは

公判のために警官を何故平市に集中したか、又辯護人被告の意志を無視して職權で公判を何故開いたのか、傍聽券を極度に限定したのはどういうわけか

の三項を擧げ裁判長に詰めより、被告たちも應援して又ぞろ喧そうを極め

この時轉向組の加藤審理が本筋を放れている、雑音を避けて今少しスピーデーにやつて貰いたい

と述べると「裏切者」「腰拔け」等の怒號が乱れ飛び、結局鈴木磐夫被告退廷を命ぜられ、午後の審理に入つたが午後も亦同様なゴタゴタが續發、鈴木光雄氏も退廷される等結局人定尋問は午前 午後とも行われず喧そうと怒號の中に四時閉廷した

次期公判は八月
検察側分割裁判を希望

丹保被告の分離裁判を希望する法廷への提唱は俄然第二回公判廷の被告たちに反感を買い乱脈極る怒號應酬が加えられたが檢察側の意向も分離裁判を希望しており結局分離裁判は審理の骨滑化を計る爲にもいまでは必至と見られている なお次期公判の期日は辯護人側で松川事件公判準備のため延期を申入れ裁判所當局では是を拒否しているが新たに官選辯護人を起用してもその準備のため月餘を費し、窮極においては延期と同一狀態となり次期公判は八月以前には不能とみられている

『作文』修學旅行
旅のうれしさを友に送る

湯本中三ノ五 佐藤文雄

ミッキー（守谷昭一）君との前約束した修學旅行のお土産（見えないお土産、即ちお土産話だけど）を君にもあげるからね、順を追つて簡單にお話しよう、四日午前五時十三分で出發。ニューの臨時列車で、おまけにスピーカーつきでしよう、日光まで乗りかえなしだつたんだけど 三人掛で少しキュウクツだつたが何といつても停車回数の少ないのはよかつたよ、日光まで七回停車したが、驛を尻目に見るのは、なんとも云えない痛快さだよ車内では音樂観賞やノド自慢があつたが、退屈だつたよ、この退屈なるものは、僕ばかりぢやなかつたらしい、それでもどうにかこうにか無事結構なる日光についたのが午前の十一時七分だつた、それから電車に乗つたがどうもこの電車はマッチ箱のようでね、小さい上に國際觀光地にふさわしくないボロ電車で僕は立ち通しだつたよ、然し立つてんのも良いね。第一に車外の景色が見えるからいい、だがそれは負けおしみでやつぱり座りたかつたよ、車窓から見えるはずの神橋が改修中で見えなかつたのは残念だつた、晝食は電車を降りてアンチャン食堂と云う所でパクついたのだが、出してくれたお茶の味が今でもベロの先に残つている程美味くてね五、六杯はのんだよ、そこの食堂に荷物を預けておいて結構見物に出かけた、一番初めに輪王寺で天然記念物金剛櫻、三佛堂内に安置された三体御佛像、相輪棠、燈籠、五重の塔とだん〳〵見ていくうちに、莊嚴な空氣にひたつて、今の自分ではなくなつている様な氣がしてなりませんでしたよ。三獅、鳴龍、眠猫等の彫刻 繪畫にも驚きましたが、建築、彫刻、色彩と三拍子そろつた陽明門、またの名を日暮御門とも申されますが、之には少なからず感嘆致しました、美しく精巧なんともかんとも云えぬ見事なものであります、案内人の方も日光中の結構だと云うしそこに居た外人二、三人の方達は口をそろえて、「オ〵ワンダフル」ともらしました、陽明門を見てから後は朱ばかりの建物がつまらない様に思えて案内人の説明もろく〳〵聞きませんでした、とくれが今思い出して見るとう大へん立派のようでもう一回見たい様です、東照宮、大猷廟を拜觀して寶物館へ來ました、途中杉並木を通る時、大名の氣分を出して「下におろう〳〵」といばり歩いたのも一つの語り草だよ 電車、ケーブルカー、バス、エレベーターと乗り華嚴の滝を背景にして寫眞をとりました、良く寫つたら送ります、その夕方やつと和泉屋旅館に着き旅裝をときました、夕食、入浴後は、十時まで自由行動、僕たちはこれを機会にお土産をあさりました、氣壓の關係でしようか、ケーブルで來る途中耳がガン〳〵したのも今では何でもありません、なれたせいでしようか、僕たちの愉快なのは床についてから始ります僕たちがお土産あさりから歸つて來た時には、すでにふとんが敷いてありました、疲れたのかすぐに寢てしまう人もおりますその人には鼻の穴にパン粉を入れると苦しくて口を開けます、開けた口にもパン粉を入れてしばらくすると、パン粉をフーと吹き上げます、鼻息の荒い人では、三十センチも高く上げるでしようか?、君も弟あたりに實驗したまえ、おもしろいよ、さて僕も疲れていたので?いつの間にやら白河夜船、多分中禪寺湖附近を……僕も誰かにパン粉事件をやられたかもしれないが何もかもわからなかつたよ 明けて五日は五時半起床顔を洗いましたが（當り前ですが）その水は非常に冷く歯をみがくのに齒にしみる様でした、八時頃でしようか、中禪寺湖を遊覽船で横斷し、立木觀音の前でも寫眞をとり又すぐ遊覽船に乗りました、今朝からの小雨が、まだ降り續き「雨の中禪寺湖」なんていかにもロマンチックで、映畫の題にでもあるような思いが致しますよ、歸りは自由行動もなく無事日光驛につきそこで二時間程自由行動の許可。又々足らないお土産あさり、午後二時夫々お土産をかかえて日光驛に集合、ここで又ニューなさつきの臨時列車に乗つて、一路湯本へ〳〵と走つたのです 數々の旅の思い出をのせて………かくして午後九時僕たちは、母ちやんのふところに飛び込んだのでした あまりはも乱文で意味もとりずらいだろうがごめんね

ミッキー君たちは、京都奈良へ行くそうだがその時はもつと〳〵よいお土産をね、指切りげんまんしよう

磐城日日
本紙は自由に購讀できます
購讀希望のお方は最寄りの支局又は本社へお申込み下さい
磐城日日新聞社

縣農委に吉田氏
泉全村一致で推薦

近く實施される縣農業委員選擧に泉村主要団体では前村長吉田縣記氏を推擧すべく意見の一致を見た、これにつき江尻議長は次のように語つた

吉田氏は實際的に農業の体驗者であり畜産界にも明るく蓋し農業委員として最適任者であると信じている

予定

農委選擧の説明會（磐崎）

磐崎村農業委員選擧事務説明会は本二十八日午前十時より湯長谷公會堂で行う

植田商工會役員決定

植田町商工会は二十四日定期總会を開き昭和二十五年度決算報告、二十六年度の事業計畫等審議、ついで役員選擧を行い左記の通り當選した

会長 安島利英氏
副会長 安田嘉三氏
〃 三浦留四郎氏

江名町代表陳情に出縣

江名町江浦櫻戸間縣道舗裝工事は工費七百万圓にて二十六年度事業として計畫されているが未だ予算化されていないので其の促進陳情のため中山町長、黒川、小松、吉田（勝）吉田（義）、吉田（金）、坂本、作山の漁業界、町議會、地元等各代表は二十五日出縣した、なお引續いて二十七年度江名港修築工事の予算獲得のため上京して二十八日歸町の

植田町でポンプ購入

植田町消防團では平市一丁目磐水社の斡旋によりトーハツ式輕便ガソリン消防ポンプ一台を十九萬五千圓で購入、二十六日午後一時より町署裏で試運轉をなし放水試驗をした結果性能も好成績をおさめた これで植田町の消防ポンプは小型五、大型二台となり今後の防火布陣に万全を期している

湯本町公民館を視察

伊達地方事務所管内各町村總務主任一行七名は二十六日午前十時湯本に來町、公民館を視察したが同公民館の建築費其の他費用の一さいは伊達管内一町村の年間予算よりも多いと驚きの目をみはつていた、

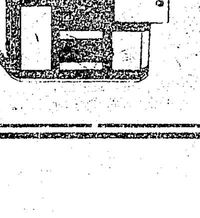
結核対策の講演會開催

來る七月一日午前十時より平地區安全衛生勞災協会主催の產業結核對策講演會が炭勞会館にて開催される、講師には東北大學醫學部教授醫學博士中村隆氏を招聘する予定

街の聲

日發三十六億配當五十數億のふくみある尨大な資產狀態が明るみに出されて國民は先づ当分は電氣料金の値上げもないだろうと思つていたところ電力会社公益事業委員会では八月一日より大幅な料金値上げを進めているがそれに対しての反対は全國的に波及し署名運動よ、陳情よとこのところ活發化してきた、朝鮮事變以來相つぐ物價の値上りに苦るしんでいるさ中にまた値上げではアゴの方が心配させられる町村役場では「皆さん完納をお願い致します」と目の色をかえている、電氣料の集金人は「料金不拂が多いのに又ぞろ値上げでは徴集率の向上どころではない歩合ではとても食つて行けない」とこぼしている、貧者をしぼるよりも納稅を果たさずに何々議員になるために何十萬何百万円とお金を使うお偉方もあるようだ、この方からコデッチリ取り立てる方法がないだろうか

油繪肖像畫揮毫
牧島如鳩先生愛弟子 馬上幸男畫伯
精魂をこめての揮毫
揮毫申込所 磐城日日新聞社

新案特許 東和カマド
珪藻土製品の最高峰!!
驚く程燃料のいらない
火力强大!
保溫絶大!!
時間經濟!
簡便重寶!

浜三郡發賣元 榮屋商店
小名浜町古港 電話三番

水飴の買い時は今です
六月一日から一罐二百十九円餘の物品稅が課せられました。原料高と採算割で各地業者は製造中止です。品薄先高です。
一、二、三級の各種メーカー品あり
御照會下さい。配達致します
小名浜町 柳内佳門

三馬弘進印の自轉車タイヤーの大特賣!!
◉タイヤー一臺分（二本）お買上げの方には特にチュウブ一本を差上げます
◉荷リヤカータイヤーも特に勉强致します
自轉車タイヤー一台分 一、四〇〇円
リヤカータイヤー一本 一、九〇〇円
リヤカーチユウブ一本 三〇〇円
◉三馬弘進印の地下タビも大量に入荷しましたので特に大勉强致します
＝期間に制限はありません＝
三馬弘進ゴム代理店 小名浜町本町 小島ゴム店 電話三四〇番

酒類消費者各位に御願い
毎度御厚情御引立を蒙り有難く御禮申上げます
此の度稅務署當局より酒稅確保の爲め現金取引を勵行する樣通達がありましたから今後の御取引は誠に恐縮ですが宜敷く御協力下さる樣御願い致します
昭和二十六年六月
小名浜酒類小賣商組合
御得意樣

製塩に新潟も擧る 工場誘致は强力に

地元の熱意が必須

製鹽工場小名濱設置が略々決定するかに見られていた矢先、隣縣新潟に强敵が現われて小名浜を脅威している、即ち新潟では商工会議所が主体に音頭を取り、縣、市が一丸となつて合流猛烈な誘致運動を展開、すでに一万坪の敷地決定も見たといわれ急ピッチでその實現に拍車をかけ始めた、一方専賣公社は製品過程を急いでおり、立地條件上小名濱に一日の長ありとはいえ、輸送その他に新潟が勝つていると言われ加うるに新潟地元の必至の努力は同工場を小名浜設置に樂觀を許さざる狀勢に逢着した、此の際町當局は製鹽工場誘致問題の進展狀況を隱蔽することなく町民と打つて一丸工場設置に一段の努力が望まれ、これが爲には工場予定敷地の所謂地主側も大乘的な見地より眞の協力を今こそ切に希望されている

信用金庫に改組

濱通り五組合合同の機運

猛烈な反対運動に拘らず去る十五日公布となつた信用金庫法を挑り濱通り信用組合（平、楢田、小名浜、江名、原町）は大同団結し一本化しようとする氣運が擡頭し今後の動向が注目されている

信用金庫法は信用組合を改組し經營内容を充実させ事業の範圍を擴げる事が理由とされているが弱少組合を整理すると言うのが眞の狙いらしい、而して新らたに出来る信用金庫の業務内容は國內爲替業務の取扱いから見返資金、中小企業の信用保證制度を利用する事が出來る等殆んど銀行と大差ない業務面を持つものである、そのため信用金庫に改組出来る信用組合は大藏省の認可方針にかゝつて居り業界でも確たる見透しはついていない様であるが業務内容より察して縣下十四組合中一ヶ所も該当しない事が危惧され、この儘信用組合として存續する時は所管が縣知事に移り員外預金取扱は不可能となり貸出しも無藝的なものになるので此際浜通り五ヶ組合を合して出資金一千二百萬円、預金一億二千萬圓の强力体とする信用金庫に改組する態勢の必要が叫ばれている

平の夏期大學

日程講師も決定

縣、縣教育委員会、福島、郡山、若松、平の四市に原ノ町主催による第六回夏期社会大學講座は八月一日より開かれるが本年は一般成人を対象として國際情勢、經濟問題、婦人と政治、母親の愛情、家庭生活などの問題を取上げることになつており平市公會堂に於ての日程は次の通り

第一日「世界の動きをどう理解するか」朝日新聞論説委員福井文雄氏、二日は「新らしい母親の愛情」家庭裁判所調停委員田邊繁子三日、「講和と日本經濟」東大經濟学部長有澤廣巳氏四日「家庭生活の科学化」東京文化學院教授沼畑金四郎氏、五日「日本文化の在り方」東北大学教授成瀬政男氏

炭礦の電力依存は御免

最近湯本町常磐炭礦附近に家を新築する者が多くその際に會社の送電線を當込んで建築してしまう人があるが、社外の電灯は總て東北電力会社の配電を例外なくうけるようになつているので、会社では今後いかなる申請も絶対に受附けないからすべて電力會社に申込むよう要望している

學校だより

小名浜町第二小学校PTAでは來る卅日午後一時より同校會議室に於て評議員会並に学級総会を開催、各種委員会に於ける年間事業計畫の説明並に講堂落成に伴う記念行事其の他を審議する

江名信組業務開始

町金庫として正式契約

江名町信用組合は去る二十二日町金庫としての正式契約が締結され同日より金庫業務についての全面的業務を開始した、從つて納税準備貯金等は最も便利な預入機關として利用者が激增しつつあるなお納税組合の希望によつて毎月の集金も行いサービスに万全を期す予定である

村税徴收の經濟委開催

泉村議会では二十六日午後二時より役場会議室に於て經濟委員会を開催、村民税徴收條例一部改正につき吉田勝記委員長、江尻卿副、佐藤權兵衛、小林重三、江尻由、吉田泉彌、渡邊好實の各委員に役場より財務係出席の上協議した

勞災協會で安全大會

平勞働基準監督署と平地區安全衛生勞災協会共催の平地區安全大会は來る七月三日午後一時より同協会にて開催

六選炭場に泥揚機新設

湯本六坑新築選炭場の沈澱バックの上に七月末に泥揚げ専用グレーンが設置される、このグレーンは四國機械会社の製作によるグラブバケット付橋型起重機と呼ばれるグレーンで一回半トンの泥をつかむ事が出來る極めて優秀なものである

婦人厚生會總會（湯本）

湯本町婦人厚生會では二十五日午後六時から会員約六十名が公民館に集合して總会を開催した

天氣概況

（二十八日）北東の風曇り勝の天氣ですが日中は南よりの風となり晴れ間が出ましよう（海上）沿岸はおだやかな方ですが沖合は多少時化ますから御注意下さい

魚菜市況 27

（小名浜中央青果市場）梅五〇、玉な四〇〜五〇きうり一〇〇〜一四〇、なた豆六〇〜一二〇、バナナ六五〇、玉ねぎ三〇〜三六、さつま七〇、わかめ二〇〇、なす一個二、五〇〜五、人參一〜七、しそ五〇〜七〇、大根二五〜五〇、玉子九〜一一、たくあん三〇〜一三〇、馬鈴薯三〇〜五〇、筍五〇〜一〇〇、ねぎ七〇、グリンピース三〇、京な三〇、ニラ三〇〜五〇、ほーれん草一五

【魚市場】ぎす七〇、たこ九〇〜一〇〇、えび七六〇〜八〇〇、たら六五、平目四八〇、なだ三五、目光七〇、さめ五〇、いなだ三二五、方々三一〇、いか二三五

『綴方教室』

條学旅行

小名二小六ノ一　山本豊美

あゝ、あしたはいよ〳〵旅行だと考えながら水戸の空を想い起していた、水戸は小名濱のような町だろうか、いやもつともつときれいな美しい町だろうと考えたりした、母は台所でごと〳〵と明日のおべんとうをこしらえている、だが外は雨が降つている、もし行けなかつたらという不安を氣にしながらいつの間にかねむつてしまつた、朝四時少し過ぎに起きてみるとまだ雨はザア〳〵と音を立てゝ降り續いている母はもうあきらめている私はがつかりして普通の服を着て友達の家に行つてみたところ、もうすつかり用意もできてでかけるばかりであつた、私は急いで家に歸り服を着かえおべんとうをもつて外へ出てみると雨は小降りになつて大丈夫行けるらしい、母が驛まで送つてくれた、驛に行つてみたところたくさんの父兄がきている、私は六年一組の責任者なので皆を整列させ人數を調べた、するとある班の人が一人まだきていないとのことであつた、發車時間の五時二十分はせまつてくる、いくらまつてもこない、とう〳〵汽車は入つてきた一同はいそいで乗り込み送つてきた父兄に挨拶を窓からかわしている、汽車は發車した、途中宮下駅に停車してこゝからものせまた走りだした、泉で上野行の汽車に乗つた雨はもうすつかりやんで皆んなの顔にも微笑が浮んでいる、汽車の旅も時間がたつにつれ病人がぽつ〳〵出て來た、乘りかえ驛の勝田についた頃にははき氣をもよおしている人もあつた、發車時間を待つている時次の汽車で誰かがくるという連絡があつた、誰だろうと思つていると私達の組の人であつた、私はなんと勇氣のある人だろうと感心した、間もなく發車してなかみなとでおりた、それから大洗まで歩くのだ途中海をとき〳〵みながら大洗についた、大きなお土産を賣る店と旅館が軒をならべている、先生がまだ何もいわないのに皆んなかけ出して店に入り色々なものを買い始めた、私は先生のおゆるしが出るまで買わなかつた大洗神社にのぼつてお参りをしておべんとうをたべることになつた、少し休けいがあつたのでお土産を買つた、それから明治記念館を見た、そこで電車にのり水戸へ行つた、私が考えたとうりとてもきれいな町であつた、整列して櫻並木の道をとうつた、だがそこらあたりは家もあまりきれいなところではないようだ、そとで自分達の荷物をきれいにかたづけ水戸の驛へ引きかえした、先生からお土産を買つてもよいとのおゆるしがでたので皆んなで買いに行つた、歸りの汽車も間もなくくる時間だ、私たちは整列しているうさに汽車が入つてきた、汽車に乘つてみると歸りは何んだか早いような氣がした、泉でのりかえ水素前驛についてみると澤さん父兄が迎えにきていた、家に歸ると妹たちはよろこんでお土産のでるのをまつているようだ、私は別々にお土産をやつた、夜、お父さんがおもしろかつたかいときかれたので「えゝ、おもしろかつた、いろいろな店がならんでいた」といつたところお父さんはにこ〳〵していた

↓ ↓ ↓

◉大映東寶迫力豪華版二本立特別上映◉

アベツク、パトロール

何氣なしに持つて來た鞄、自分の鞄だと思つて持つて來た鞄の中に拳銃があつた、何時の間にか消えたその拳銃そして、その拳銃が殺人犯に使用されて居た、知らぬ間に殺人犯にされたその男は、アベツク、パトロールの婦人警官の兄であつた、無実を信じて血涙の搜査を續ける婦人警官の妹——謎を秘めた怪人物「赤い鍵」暗黒街に相會した婦人警官と脱獄囚——恐怖の犯罪に挺身するアベツク、パトロール、「赤い鍵」

赤いカギ

監督 安田公義

キャスト

小牧晋吾—藤田進
小牧みち子—關千惠子
三村隆吉—堀雄二
湯淺とき子—荒川さつき
川田巖—菅井一郎
藥村小夜子—大伴千春
小牧民—毛利菊枝
末松檢事—寺島雄作
金澤課長—原聖四郎
細田(紙芝居屋)—南部章三

二十九日より四日間 堂々公開 磐城座

日本全土の視聽をあつめて遂に映画化なるこの原作″この顔振れ″官能の嵐を吹きあげる肉体映画田村泰次郎の問題作

肉体の門

濁つたドブ河にのぞんだ燒ビルの地下室、そこに巢喰つている小政のせん、山猫マヤ、お町、ふうてんお六の花江、ジープのお美乃みんな安白粉で化粧して夜の町角に肉体をひさぐ地獄のけだものたちである、彼女たちは本当の肉体のよろこびを知つてはいない、早く開きすぎた匂いのうすい花なのだ、だが彼女たちが取引を離れた愛情の世界へ浮び上ろうとする時、彼女たちに與えられるのは「裏切者」の燒印とむごたらしいリンチの鞭である——

★スター順位
轟夕起子
水島道太郎
小夜福子
月丘千秋
逢初夢子
淸川荘司
田中実
田端義夫
空氣座出演

普通料金70圓
前賣券60圓
只今發賣中

近日上映 大映の 自由学校

優等清酒 磐城櫻
長瀬彰義
小名浜町林城
電話199番

絶對に大漁を約束する
昭和電機の自動電壓調整器
代理店 興洋電氣
小名浜町古港（電四五七）

内科 小兒科 堀越醫院
醫師 堀越常雄
小名浜町横町
電話三七三番